

ワールドカップに思う

福永 勲

新聞やTVでは、連日サッカーのワールドカップ ブラジル大会の話題で賑わっている。残念ながら、日本は1次リーグでの敗退が決まった。

私は、大学でサッカーを始めた頃、恥ずかしい話、オリンピックのサッカーしか知らずにいた。ワールドカップの映画を見る機会があり、その凄さに圧倒された記憶がある。

その頃は、日本の前には韓国という大きな壁があり、いつもアジア予選で敗退していた。日本サッカーは、1993年のJリーグスタートを機に、この20年で急速に成長を遂げた。今や欧州のクラブでレギュラーとして活躍する選手も数多い。

ワールドカップも、98年フランス大会でW杯初出場（岡田）を果たすと、02年日韓大会（トルシェ）、06年ドイツ大会（ジーコ）、10年南ア大会（岡田）、そして今年のブラジル大会（ザッケローニ）と5回連続の出場となった。昔を思うと隔世の感がある。ブラジル大会では、ザッケローニ監督は、細かいパスワークを駆使した攻撃的なスタイルを目指し、メディアも海外組の本田、香川、長友やJリーグの大久保、柿谷といった攻撃的な選手の活躍が期待され、その話題で持ちきりだった。しかしながら、日本の成長に劣らず、世界も成長していた。

パスの精度、攻撃のスピード、シュートの決定力、ボールへの集中力等、いずれも日本との差を感じた。特に、中南米、アフリカ勢の活躍が目を引いた。中でも黒人のスピードや身体能力の高さには、舌を巻く。

かつてブラジルがそうであったように、今のアフリカでは、サッカー選手として、欧州クラブで活躍することが貧困から抜け出す大きな手段の一つだと言われている。競争を勝ち抜くハングリー精神の凄さは容易に推測できる。

日本が、これらの国々を相手に勝ち進むのは容易ではないが、日本人としての持ち味の組織力とインテリジェンスに磨きをかけながら、一人一人の個の力を上げていくことが重要ではないだろうか。ユース世代の強化に成功し、活躍が注目されているドイツサッカーに学ぶことも多いと思う。

さて、今回の優勝国はどこであろうか。スペイン、ポルトガル、イタリア、イングランドといった強豪国が1次リーグで敗退したが、ブラジル、アルゼンチン、ドイツ、オランダ、フランスといった国々は残っている。中でも、今大会は、開催国のブラジルが好調である。エースのネイマールの活躍が凄い。世界最高峰のクラブ、バルセロナ所属の弱冠22歳。カメルーン戦において2ゴールの大活躍で、ブラジルを8大会連続の決勝トーナメントに導いた。初戦の2ゴールを加え、4ゴールは、ドイツのミュウラー、アルゼンチンのメッシと並んで得点ランクトップ。史上最多6度目の優勝へ向けて、若きエー

スの勢いは増すばかりである。これから始まる決勝トーナメントは、ますます目が離せない。

サッカーは「90分の筋書きのないドラマ」と言われるが、とにかくサッカーは面白い。さて、どこが優勝するのか。

ワールドカップが終わると、また、Jリーグの戦いが再開されます。皆さんも是非、ワールドカップのTV観戦をきっかけに、サッカーの楽しさをユアテックスタジアムで体感されては如何でしょうか。TV観戦と違ってスタジアムで見るサッカーは臨場感があり、迫力満点です。

我が愛する地元仙台のJ1チーム「ベガルタ仙台」は、今、渡邊新監督の下、暑さ対策もあり、延岡でキャンプ中です。

仙台のホーム再開第1戦は7月23日（水）名古屋とユアテックスタジアムで対戦します。みなさん「ベガルタ仙台」の応援よろしくをお願いします。



編集者より

予選リーグ終了時に本ホームページ上でも、ワールドカップに関する投稿を募ったのですが1件も無く、少し寂しい思いでしたが、東北OB会の会報でこの記事を発見したので早速掲載させていただきました。国土グループでは経理のプロとして本社、仙台支店、蔵王観光等で活躍された福永さんでしたが、今やサッカー界へ見事に轉身されたことが日本チームの育成論まで展開する文面からも伺えます。

私も一言「監督は日本人でせめて3大会くらいは続けて欲しい」と思うのですが、説得力なさそうですね。